

講義名	教養特講（自己発見とキャリア開発）			授業形態	
担当教員	亀谷 涼 / 田邊 良祐	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	FYE101

### 主題と概要

4年間の教育課程の初めに「気づきの教育」を置いている。気づきの教育の目的は、自発的で積極的な行動を伴う多数の経験を通して得られる様々な「気づき」から、一人一人の「なりたい自分(夢の種)」を授け、それに応じて本学での4年間の学びをより充実させ、意義あるものにする事である。「気づきの教育」の幹となる必修科目として「自己発見とキャリア開発A」を置いている。「教養特講（自己発見とキャリア開発）」は、「自己発見とキャリア開発A」を未習得の学生に対して開講して、同様の教育目的を達成しようとするものである。この科目は2単位なので、「自己発見とキャリア開発A」（8単位）のうち、主要な要素について振り返り、同様の学習目的を達成しようとするものである。すなわち、大学での学びや社会に出でからの基礎となる能力について、気づいて向上させる。働く学び、ならびにその関連性について自らに即して気づく、それらを踏まえて、将来の夢や目標をつかみ、将来を見据えた「4年間の学びの通筋(キャリアビジョン)」を作成する。

### 到達目標

4つの領域（自己理解・自己発見、人間関係形成、情報活用、問題発見・解決）に関する基礎的能力を修得し、それらを統合して自らのキャリアビジョンを構築できるようになることを目標とする。

### 提出課題

毎回の授業終了時に、その日の成果の概要をまとめて提出する。このほかに別途課題を出す場合がある。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出物については授業中に講評・解説する。

### 評価の基準

出席状況および授業内活動への積極的参加...50%  
課題・提出物...40%  
発表...10%

### 履修にあたっての注意・助言他

本科目は必修科目である。また、この科目に不合格の場合、来年度、再度この科目を履修し合格する必要がある。「自己発見とキャリア開発A」の未修得者は、この科目と、さらに追加で教養科目6単位を、卒業までに修得する必要がある。この科目は前年次に履修することに意味があるから、早い機会に必ず、修得するようにしていただきたい。1年生後期の時間割では、学部や学科の重要な科目との重複は避けるようにこの科目が配置されているが、2年以降にまでこの科目を未修得で残っていると、重要な科目との時間割での重複が生じる事として、4年間で卒業できないことにもなるので、注意すること。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書


### その他

資料類は基本的には授業時間に配布する。

### 授業計画

第1回 科目の目的・チームビルディング  
予習内容：シラバスを確認し、科目の目的、到達目標、評価基準を十分に理解し、特に「6つの基礎能力」や「キャリアビジョン」について、自分なりの考えを整理しておく。(120分)。  
復習内容：講義で学んだチームビルディングの考え方や、チームメンバーとのコミュニケーションを振り返り、次回のワークに活かす準備をする。(120分)。

第2回 チームビルディング  
予習内容：「私は何?」というワークの目的と概要について事前調査し、このワークが、多くの人と目を合わせて話す機会を設けることを目的としている点や、質問形式で自己紹介を行うゲームである点を理解しておく。(20分)  
復習内容：「共通点探し」のワークを振り返り、自分の趣味嗜好や経歴を相手に伝えることの難しさや、共通点を見つけた際のグループの一体感を言語化する(120分)。

第3回 自己理解(人生すごろく)  
予習内容：「人生すごろく」が自己理解を深める目的を事前調査する(120分)。  
復習内容：講義で作成したライフラインチャートと自己の棚卸しを参考に、自身の「金の糸」を明確にする(120分)。

第4回 職業研究(OHBYカード)  
予習内容：OHBYカードの概要と目的について世の中の職業やその特性を知り、自分の興味・関心に基づいて自己理解を深めることを目的としている点を理解しておく(120分)。  
復習内容：興味のある職業について調べた内容や、グループ内での発表・意見交換で得られた学びを振り返る。そこから、自身の将来のキャリアパスや大学での学びの方向性を具体的に考察する。(120分)。

第5回 情報を探す  
予習内容：大学図書館や国立国会図書館の蔵書検索システム、Google Scholarの検索方法について事前調査する(120分)。  
復習内容：講義で扱った資料の内容を整理し、今後の学修やキャリアデザインにどのように活用できるかを考察する(120分)。

第6回 情報を探す  
予習内容：過去に拡散された偽情報やフェイクニュースの事例について事前調査する(120分)。  
復習内容：講義で扱った偽情報・フェイクニュースの事例を分析し、情報の真偽を判断するための具体的な方法をまとめる(120分)。

第7回 情報を探す  
予習内容：「仮説思考」の考え方や重要性について事前調査する(120分)。  
復習内容：授業で割り当てられた仮説を立証するために収集したエビデンスを整理し、仮説の立証プロセスを振り返る(120分)。

第8回 情報を探す  
予習内容：大学生の生活に関連するテーマ(学業と睡眠、SNSの使用時間と精神的健康、アルバイトと学業成績など)の中から、自身の興味のあるテーマを一つ選び、関連する仮説を複数立てておく(120分)。  
復習内容：授業で立証した仮説とその結論について、改めて考察する(120分)。

第9回 生成AIの活用  
予習内容：生成AI(例：ChatGPT、Midjourney)の概要、特徴、できること、および潜在的なリスクについて事前に調査する(120分)。  
復習内容：授業で学んだ生成AIの活用法を振り返り、自身のキャリアビジョン実現に向けた課題の洗い出しや解決策の検討に、どのように応用できるかを具体的に考察する(120分)。

第10回 アカデミックスキル  
予習内容：文章を要約する目的と方法について事前調査する(120分)。  
復習内容：授業で要約した文章の内容を整理し、要約プロセスを振り返る(120分)。

第11回 アカデミックスキル  
予習内容：複数の文章から共通するテーマや異なる意見を抽出し、比較検討する準備をする(120分)。  
復習内容：複数の文章で共有した要約内容を基に、より効果的な要約方法や、他者の意見を取り入れた文章構成について考察する(120分)。

第12回 アカデミックスキル  
予習内容：レポートの構成(序論、本論、結論)や、論理的な文章の書き方について事前調査する(120分)。  
復習内容：授業で作成したレポートの構成を整理し、不足している情報や論理の飛躍がないかを確認する(120分)。

第13回 アカデミックスキル  
予習内容：授業に執筆したレポートや論文の事例を複読し、より説得力のある文章表現や、引用・参考文献の適切な扱い方について学ぶ(120分)。  
復習内容：授業で扱ったレポートの構成を整理し、レポートの内容や文章表現を修正する(120分)。

第14回 「まとめる力」と「伝える力」(スライド作成)  
予習内容：「何を言ったか」、「何を学んだのか」、「今後どのようにことに挑戦していきたいのか」、「到達目標に対する自己評価」といった観点から、これまでの授業内容を振り返り、スライド作成のための材料を準備する(120分)。

### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア：PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業では全ての卒の基礎となる能力の育成を目指す。  
特に、建学の理念と関連する「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材の育成に向け、様々な活動や経験を通して、社会に出て必要な能力の育成を目指す。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

常に学生間や教員と学生の相互啓発的な刺激の下で授業を行う。この意味でこの授業は基本的に双方向授業である。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験なし

### 備考

発熱や体調不良、病氣、慶弔等のやむを得ない理由により授業を欠席する場合には、別途課題を課すなどの対応を行う。その際は必ず欠席届を提出すること。